

門田博光氏

プロ野球

三國志

時代を生き抜いた男たち

名將野村克也（本紙専属評論家）の名言（迷言）がある。

「南海監督時代に江本、門田という悪人がいた。彼らを使うことに比べたら、今の選手なんて全く苦勞しない」

門田は笑う。「これほど素直に意見を言う人間を、よく悪人と言ったよな。まあ、向こうがそう言うなら仕方ないけれど」

現在、阪神の育成チームを率える立石充男は1976（昭和51）年に南海に入団。門田の打撃練習に登板することになった。

「登板前に門田さんか



南海・オリックス・ダイエー

「外角低めに打たなければならぬ」と言われた。何のことも意味も分からなかったけれど、とりあえず抑えてやろう

わざと死球…ピッチャー返して報復

門田にも信じられなエピソードが残っている。

「南海の育成チームを率える立石充男は1976（昭和51）年に南海に入団。門田の打撃練習に登板することになった。

「登板前に門田さんか」と思っ内角に投げた。でも、物凄い打球を飛ばされた。外角に打って、ピッチャーが、外角に打って、ピッチャーライナーが、体に当たった。なるほど、そういうことか、と思った。

「あの時代の投手にわざと死球を打って、ピッチャーを返して、そのころ、門田には

「誰に当たったかは覚え練習してたね。あまりにた、と言われた（笑）

外角低めを投手方向に打てるハイレベルな技術

お残る月間16本塁打の日本記録。伝説が打ち立てられたのは1981年7月だった。



火曜土曜日掲載

門田博光 1948年2月26日、山口県生まれ。天理高校からクラレ岡山を経て、70年D2位で南海に入団。40歳を迎えた88年に打率・31.1、44本塁打、125打点の成績を残し、MVPにも輝く。本塁打王3回（81、83、88年）打点王2回（71、88年）。2006年殿堂入り。通算成績は、2571試合に出場、打率・28.9、567本塁打、2566安打、1678打点、170。

門田博光氏

プロ野球

三國志

時代を生き抜いた男たち

門田は、最高の手本がある洗面所で手を洗って、すそばにのびるのに気が付かなかつた。毎日のように、その人と会話しているのに…。

「プロに入って2年目やった。凡退して、手が真っ黒になっていたの。大阪球場のベンチに一瞬、不思議に思った



南海・オリックス・ダイエー

「野村克也」が手本だった。あまりにも有名な話だが、門田を語る上で避けて通れないエピソードなので、記しておく。

この年、野村監督に抜てきされて3番に定着していた門田の次の打者は、監督でもある4番野村だ。鏡の中で見つけた

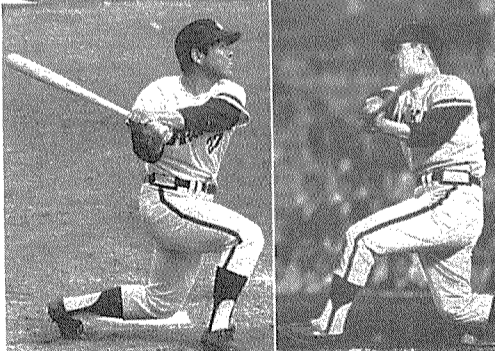
鏡の中にいた！理想フォーム左打者

「野村克也」が手本だった。あまりにも有名な話だが、門田を語る上で避けて通れないエピソードなので、記しておく。

この年、野村監督に抜てきされて3番に定着していた門田の次の打者は、監督でもある4番野村だ。鏡の中で見つけた

「野村克也」が手本だった。あまりにも有名な話だが、門田を語る上で避けて通れないエピソードなので、記しておく。

この年、野村監督に抜てきされて3番に定着していた門田の次の打者は、監督でもある4番野村だ。鏡の中で見つけた



火曜土曜日掲載

「そんなこと、思ったこともなかったのに。今この世界で生き残るにでもはつきり言えるよ。一緒にプレーした時代は楽しかったや」

1948（昭和23）年2月26日、山口県生まれ。天理高校からクラレ岡山を経て、70年D2位で南海に入団。40歳を迎えた88年に打率・31.1、44本塁打、125打点の成績を残し、MVPにも輝く。本塁打王3回（81、83、88年）打点王2回（71、88年）。2006年殿堂入り。通算成績は、2571試合に出場、打率・28.9、567本塁打、2566安打、1678打点、170。

門田博光 1948年2月26日、山口県生まれ。天理高校からクラレ岡山を経て、70年D2位で南海に入団。40歳を迎えた88年に打率・31.1、44本塁打、125打点の成績を残し、MVPにも輝く。本塁打王3回（81、83、88年）打点王2回（71、88年）。2006年殿堂入り。通算成績は、2571試合に出場、打率・28.9、567本塁打、2566安打、1678打点、170。

2010.11.19 B98 サンスポ

2010.11.19 SA サンスポ

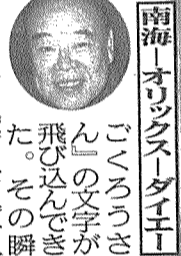
門田博光氏

プロ野球

三國志

時代を生きた男たち

1992年10月1日。最後の対戦相手に相応しい剛腕「野茂英雄」願ってはいなかった門田は、引退試合で、3球振って三振するつもりだった。3番DHのスタメン。一回に打席が巡ってきた。マウンドには「自分



南海オリックスタイガー

笑いながら注文したら「わかりました」と返し「わかんないよ」と返した。光山は「

野茂に23年間の垢落としてもらった3球三振

1球目。思いっきり振り回した。当然、当たらない。超の剛速球を、1カ月練習して、この気持ち、1億何千万人いても分かってる。3球目。生半貫いたフルスイングを3回。15分。20個目(史上6位)の

門田博光氏

プロ野球

三國志

時代を生きた男たち

オリックスで2年プレーした門田は1991(平成3)年、タイガーに移籍した。かつて在籍した南海がタイガーに売却される時、「九州は遠い」と言った男が

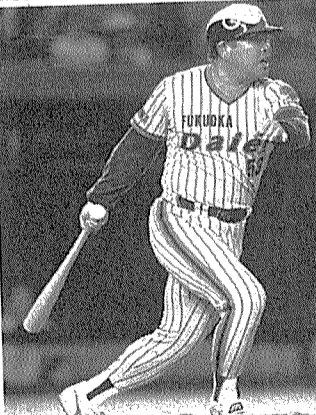


南海オリックスタイガー

「あのだけ野次っていい。九州のファンが、それだけ大きな垂れ幕を作ってくれた。門田選手

43歳・年齢との闘い「俺は老衰かなあ」

一方の門田も、不死身ではない。43歳という年齢との闘いが深刻度を増していた。「同じ個所の肉離れを何度も何度も繰り返すようになった。一番の致命傷。大阪球場や神戸(現スカイマーク)のような土の



火曜・土曜日掲載

ダイエーに移籍した門田。思わぬ引退のキッカケとなった

火曜・土曜日掲載、次回は16日



火曜・土曜日掲載

健康管理していた。でも、強靱だと思っただけは、実は無理な重たもので強靱ではなかった。油断した。朝昼晩、ひたすら飲んだりしてな

2010.11.13A 本誌

2010.11.12A 本誌

門田博光氏

プロ野球

三國志

時代を生きた男たち

1つ1つ思い出しながら、(監督やコーチとして)野球人生を振り返って、ユニホームを着る手てくれた希代のアーチスヤンスもあつたんやろうトは何度も「楽しかった」と繰り返した。ただ引退後の話題になる

「飲み過ぎなかった」の合併症になる。いろいろ



南海・オリックス・ダイエー

病魔と戦い再びプロ野球の世界へ

病魔と闘う中で勇気を合球会を通じて長く付き

希代のアーチストまだ夢を追う



2006年7月のオールスター戦前、殿堂入りの表彰を受けた門田氏

だ、と感じたのかもし

1948(昭和23)年2月26日、山口

感動のラスト連載 Memories

2010.11月16日 作(完)

火曜 土曜日掲載 17日付から阪急のサブマシン・足立光宏登場